国立スポーツ科学センター（JISS）　オプトアウトにより実施する研究

研究課題名	スケートボード競技のパフォーマンス構造分析
倫理審査委員会承認番号	2026-040
研究開始日	2026年10月30日
研究終了日	2029年3月31日
研究目的	ワールドスケートジャパンが主催する第9回日本スケートボード選手権において撮影した映像を活用し、スケートボード競技における演技構成およびトリックのできばえが採点結果にどのような影響を及ぼすかを明らかにすることを目的としています。
研究対象者	第9回日本スケートボード選手権に参加した全選手を撮影の対象としますが、研究に用いるのは12歳以上の選手の映像のみです。
研究概要	第9回日本スケートボード選手権のパーク、ストリートの2種別について、選手の皆様の演技の様子をビデオカメラで撮影します。得られた映像から、いつ、どこで、どのようなトリックが、どのように実施されたかを記録し、審判員による採点結果との関係を検討します。調査結果を公表する際には、競技会に参加した選手全体の傾向として、個人が特定できない統計的数値を示すことになっていますが、順位や演技構成から間接的に個人が特定できるような場合には、当該選手（選手が未成年の場合にはその保護者）の承諾を得て公表します。
研究に用いる試料・情報の種類	競技会において撮影された映像、審判による採点結果、選手の年齢、性別
情報の提供先	ワールドスケートジャパン
研究の資金源	国立スポーツ科学センタースポーツ医・科学支援事業予算
研究に係る利益相反及び個人の収益	本研究に係る利益相反や個人の収益はありません。
研究責任者	淺野佑樹（国立スポーツ科学センタースポーツ科学研究部門）
共同研究者	窪康之（国立スポーツ科学センタースポーツ科学研究部門） 鍔木悠里奈（国立スポーツ科学センタースポーツ科学研究部門） 奥貫拓実（国立スポーツ科学センタースポーツ科学研究部門） 横澤俊治（国立スポーツ科学センタースポーツ科学研究部門）
問合せ先	淺野佑樹（国立スポーツ科学センタースポーツ科学研究部門） E-mail：yuki.asano@jpnsport.go.jp TEL：03-5963-0231